

小規模事業者持続化補助金 <一般型>

獲得セミナー

2022年10月21日(金)
14:00 - 16:00

(公財) 仙台市産業振興事業団
ビジネス開発ディレクター
青沼 泰彦

セミナーの内容

1. 補助金の概要

2. 申請書の書き方

- ① 全般的な注意点
- ② 各項目のポイント
- ③ 高評価につなげるには

3. 演習（ワークシート）

- ① 経営計画
- ② 補助事業計画

補助金の概要

補助金とは

- 1 補助金によって、目的・対象・仕組みが異なる
 - 国や自治体の政策目標に合わせて、さまざまな分野で募集
 - 事業者の取り組みをサポートするために「**資金の一部を給付する**」
 - 補助金の「**目的・趣旨**」を確認し、自分の事業とマッチする補助金を
 - 各補助金で定められた期間内に事業を実施する必要がある
- 2 必ずしも、事業の全額が補助されるわけではない
 - 補助金は必ずしも**すべての経費がもらえる訳ではない(1/2~2/3など)**
 - 事前に**補助対象となる経費・補助の割合・上限額**などを確認
 - **パソコン**など「汎用性」のある機器は対象外となる補助金が多い
- 3 補助の有無や補助の額については審査がある
 - 補助金には**審査がある**ので申請したら必ずもらえるというものではない
 - 補助の有無や金額は「**事前の審査**」と「**事後の検査**」によって決まる
 - 原則、補助金は「**後払い（精算払い）**」
 - 事業実施後に必要書類を提出し検査を受けた後、受け取ることができる
- 4 電子申請が基本
 - 「**GビズIDプライムアカウント**」の取得が必要
- 5 申請書等は自社で書くのが基本
 - 高額な成功報酬等を請求する業者に注意

小規模事業者持続化補助金

- 小規模事業者が作成した「経営計画」に基づいて行う販路開拓の取組（「補助事業計画」）をサポートする
 - 対象：商業・サービス業（宿泊業・娯楽業除く） 常時使用する従業員の数 **5人以下**、宿泊業・娯楽業 常時使用する従業員の数 **20人以下**、製造業その他 常時使用する従業員の数 **20人以下**
 - Web関連費は総額の**1/4**までに制限
 - インボイス枠がある
 - 免税事業者であった事業者が、新たにインボイス発行事業者として登録し、販路開拓に取り組む小規模事業者；補助上限額**100万円**
 - 提出前に商工会議所にて最終確認が必要
 - 商工会地区の方は商工会で
- 公募期間
 - 10回目提出期限：～12月9日
 - 11回目は2月中～下旬を予定
 - 公式サイト：<https://r3.jizokukahojokin.info/>
 - セミナー動画
 - <https://www.youtube.com/watch?v=5kiWwpZGHH4&t=5198s>
 - <https://www.youtube.com/watch?v=UNYbiAagKYU&t=5s>



審査のポイント

- 自社の経営状況を適切に把握し、自社の製品・サービスや自社の強みも適切に把握しているか。
- 経営方針・目標と今後のプランは、**自社の強み**を踏まえているか。
- 経営方針・目標と今後のプランは、**対象とする市場（商圏）の特性**を踏まえているか。
- 補助事業計画は**具体的**で、当該小規模事業者にとって**実現可能性**が高いものとなっているか。
- 補助事業計画は、経営計画の**今後の方針・目標を達成**するために必要かつ有効なものか。
- 補助事業計画に小規模事業者ならではの**創意工夫**の特徴があるか。
- 補助事業計画には、**ITを有効に活用**する取り組みが見られるか。
- 補助事業計画に合致した事業実施に必要なものとなっているか。
- 事業費の計上・積算が**正確・明確**で、真に必要な金額が計上されているか。



※公募要領「審査の観点」より



申請書の書き方

全体の構成・流れ

経営計画

- 事業の概要、顧客・市場動向、強みと弱み
- 経営方針・目標（ビジョン）

補助事業計画

- 重点的に取り組むべきこと、解決すべきこと
- 販路開拓等（生産性向上）・業務効率化

効果

- どのように生産性向上につながるのか

経営計画及び補助事業計画

- <経営計画>及び<補助事業計画>は最大8枚まで
- <経営計画>
 1. 企業概要
 2. 顧客ニーズと市場の動向
 3. 自社や自社の提供する商品・サービスの強み
 4. 経営方針・目標と今後のプラン
- <補助事業計画>
 1. 補助事業名（30文字以内）
 2. 販路開拓等（生産性向上）の取組内容 **【必須記入】**
 3. 業務効率化（生産性向上）の取組内容 **【任意記入】**
 4. 補助事業の効果 **【必須記入】**

<経営計画>に書くこと

1. 企業概要

2. 顧客ニーズと市場の動向

3. 自社や自社の提供する商品・サービスの強み

4. 経営方針・目標と今後のプラン

<補助事業計画>に書くこと

1. 補助事業で行う事業名【必須記入】（30文字以内）
2. 販路開拓等（生産性向上）の取組内容【必須記入】
3. 業務効率化（生産性向上）の取組内容【任意記入】
4. 補助事業の効果【必須記入】



演習

自社や自社の提供する商品・サービスの強み

- 客観的に自社を評価してみる
- 強みを「具体的に」記述する
 - 人材、組織に関する強み(経営者や従業員の意識や資質、社風等)
 - 設備(店舗・工場等)や製品(商品)等の強み、独自性
 - 知名度やブランド力
 - 顧客対応力
 - 流通チャネルや他企業等との連携(安定した販路、調達力、協力企業の存在等)
 - 財務や資金調達等の強み
 - 技術、ノウハウ、独自の製造方法や販売方法等
 - 競合他社ではあまりやっていないこと、まねできないこと

経営方針・目標と今後のプラン

- 中～長期的な視点(3～5年)で、自社の大きな方向性を示す
 - ビジョン、目指すこと、達成したいこと
 - 解決したい課題
- 目標は、定量的・定性的な表現で
 - 例
 - 定量的：○年後に売上○万円、営業利益○万円等
 - 定性的：地域で○○といえは当店といわれる店
- 今後のプランは、重点的に取り組むテーマを示す
 - 例
 - 1年目：新商品の試作開発とテストマーケティング
 - 2年目：量産体制への移行
 - 3年目以降：広域への販路開拓



補助事業計画

- 補助金を活用して取り組む事業について具体的に説明する
- **申請の核となる最も重要な部分**
- 経営計画の「課題」や経営方針・目標と今後のプランと整合性があること
 - 販路開拓等の取組内容（必須記入）
 - 「誰に」「何を」「どのように」販売するのか
 - 商品開発、広告宣伝や営業方法、EC活用等を具体的に
 - 発生する費用
 - 業務効率化の取組内容（任意記入）
 - 現在の業務と改善後の業務を比較して、どの程度効率化されるのかを説明する

申請までの準備

- 必要に応じて、申請内容について相談を受ける
- 電子申請の準備
 - 電子申請には補助金申請システム「Jグランツ」を用いる
 - Jグランツの利用には、[GビズIDプライムアカウント](#)が取得が必要
- 添付書類を準備する
 - 応募時提出資料・様式集
https://r3.jizokukahojokin.info/doc/r3i_obo_yosiki.pdf
 - 商工会議所で「事業支援計画書」を受ける
 - 受付締切 2022年12月2日
 - 商工会地区の方は商工会で
- 申請（電子申請または郵送）
 - 締め切り・・・2022年12月9日



お問い合わせは

仙台市産業振興事業団
中小企業応援窓口

TEL.022-724-1122

仙台市青葉区中央1-3-1 アエル7F

9：00 ～ 17：00（土日祝を除く）